

第173回

日本循環器学会東北地方会(完全WEB開催)

プログラム

会期:令和3年12月4日(土)完全WEB開催

令和3年12月4日(土)~12月14日(火)17時オンデマンド配信

ライブ配信会場: 山形テルサ

(山形市双葉町1丁目2-3 TEL 023-646-6677)

第1会場: 3階 アプローチ1

第2会場: 3階 アプローチ2

会長 渡辺 昌文

事務局:山形大学医学部内科学第一講座

山形市飯田西 2-2-2

TEL 023 (628) 5302 FAX 023 (628) 5305

- 参加登録受付 令和3年11月1日(月)~12月14日(火)15時まで
日循地方会ページから参加登録が可能です。
オンライン登録いただいた方にWeb閲覧用のIDとPWを設定していただきます。
*当日、会場での参加登録はできません。
- 会費及び支払方法 医師/その他 3,000円、コメディカル 1,000円、学生・初期研修医 無料
参加登録および会費納入は、オンラインでのクレジット決済のみといたします。
- 視聴方法と単位付与 WEB閲覧用のIDとPWでログインし視聴いただきます。
ライブ配信・オンデマンド配信のどちらかで視聴アクセス確認ができましたら、
学会参加の5単位を付与いたします。
養育セッション1・2両方の視聴アクセス確認で、3単位を付与いたします。
- 演題について
Y I A: 発表時間7分、質疑応答5分(ライブ配信)
教育セッション: 講演(ライブ配信)、質疑応答あり(ライブで質問入力可能)
一般演題: 発表時間5分(録画データ)、質疑応答なし
学生・初期研修医 AWARD: 発表時間7分、質疑応答5分(ライブ配信)
学術セミナー: 講演60分(ライブ配信)、質疑応答あり(ライブで質問入力可能)

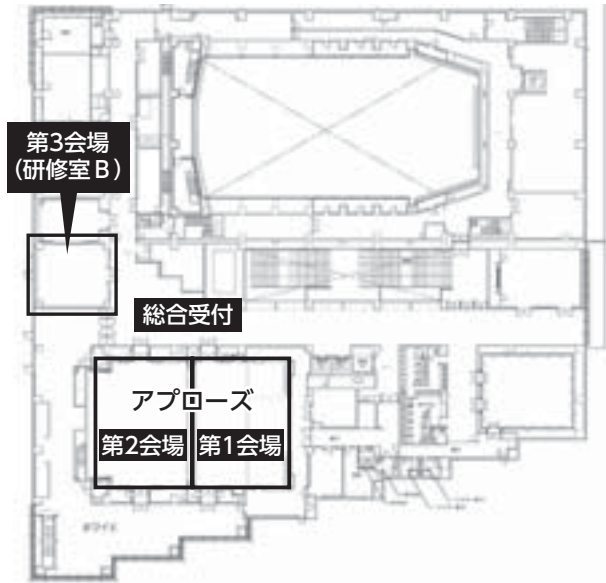
今回はDVDセッション「医療安全・医療倫理に関する講演会」は実施いたしません。

尚、詳細は地方会ホームページにてご確認をお願いいたします。

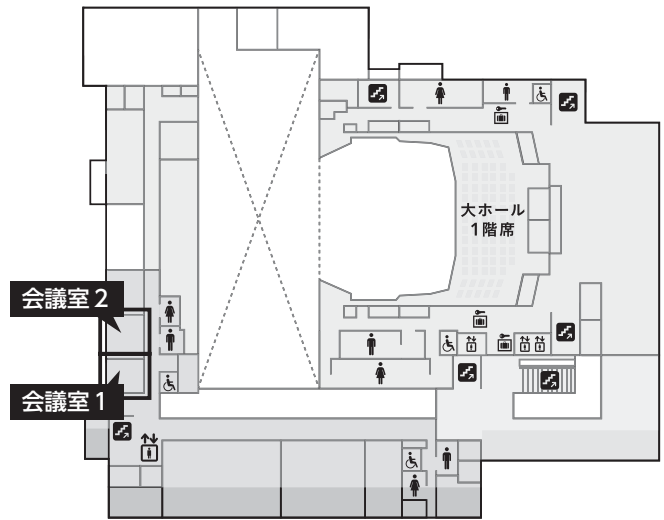
追記:学会案内状・プログラムは、原則として日本循環器学会会費納入者に限り発送いたします。

フロア案内図

【山形テルサ 3階】



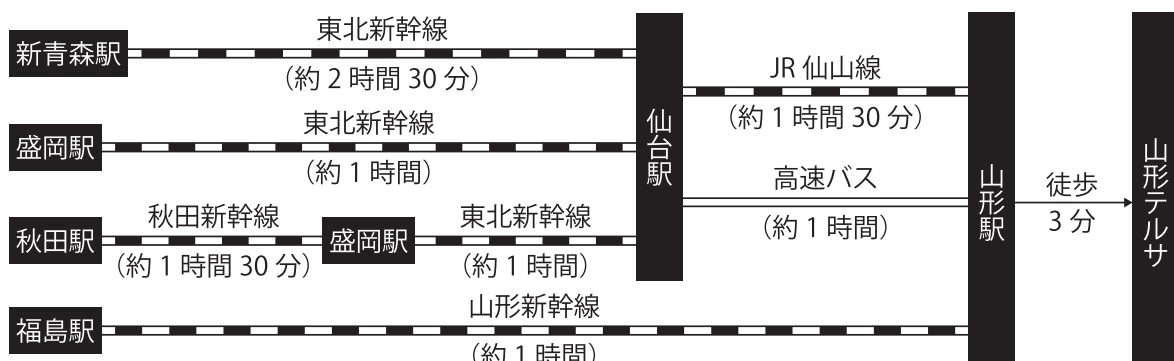
【やまぎん県民ホール 2階】



【会場および周辺図】



【会場までの交通機関】



プログラム

8:00～入館				
第1会場 (ライブ) アプローチ1 12月4日(土)	第2会場 (ライブ) アプローチ2 12月4日(土)	第3会場 研修室B 12月4日(土)	オンデマンドチャンネル 12月4日(土)～12月14日(火)	学術セミナー(ライブ) 12月4日(土)
ZOOMを使用した ライブ配信	ZOOMを使用した ライブ配信		期間内はオンデマンドで 視聴が出来ます	ZOOMを使用した ライブ配信
			<公開期間> 12月4日(土) 9時～ 12月14日(火) 17時	
8:25～開会あいさつ				
8:30 8:30～9:30 YIA症例発表部門 (1～5) 座長：渡辺昌文 (山形大学)	8:30～9:30 学生・初期研修医AWARD (11～15) 座長：渡邊 哲 (山形大学)		1. YIA症例発表部門(1～5) *12/6から発表の未配信	
9:00			2. YIA研究発表部門(6～10) *12/6から発表の未配信	
9:30			3. 学生・初期研修医AWARD (11～15) *12/6から発表の未配信	
10:00	9:30～10:30 YIA研究発表部門 (6～10) 座長：渡辺昌文 (山形大学)	9:30～11:00 ダイバーシティ推進フォーラム 座長：西崎史恵 (弘前大学) 渡部 賢 (山形大学)	9:40～10:10 学生初期研修医 AWARD審査会	
10:30			4. 一般演題 虚血性心疾患1(16～21) 虚血性心疾患2(22～26) 心筋症・心筋炎・心内 膜炎1(27～31) 心筋症・心筋炎・心内 膜炎2(32～36) 心不全・腫瘍・心膜・ その他1(37～41) 心不全・腫瘍・心膜・ その他2(42～46) 不整脈1(47～52) 不整脈2(53～58) 弁膜症・大血管(59～63) 肺高血圧・静脈(64～68) 成人先天性(69～72)	
11:00			10:40～11:10 YIA審査会	10:40～11:40 学術セミナー1 座長：有本貴範(山形大学) 演者：木村和美 (日本医科大学脳神経内科) 演者：宮崎晋介 (東京医科歯科大学循環器内科) 共催：プリストルマイヤーズスクイブ
11:30			11:10～11:40 支部役員会	
12:00	11:50～12:20 支部評議員会 YIA授賞式・学生・ 初期研修医AWARD結果発表			14:10～15:10 学術セミナー2 座長：富田泰史(弘前大学) 演者：加藤律史 (埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科・不整脈科) 共催：バイエル薬品株式会社
12:30	12:30～13:15 教育セッション1 座長：小丸達也 (東北医科薬科大学) 渡辺昌文(山形大学) 演者：内田徹郎(山形大学)		5. JCS地方会セミナー 「日本発のデバイスを作って イノベーションを起こそ う!」	14:10～15:10 学術セミナー3 座長：安田 聡(東北大学) 演者：渡邊 哲(山形大学) 共催：ノバルティスファーマ株式会社
13:00				
13:30	13:15～14:00 教育セッション2 (基礎研究) 座長：竹石恭知 (福島県立医大) 演者：武田憲彦 (自治医科大学)			14:10～15:10 学術セミナー4 座長：森野禎浩(岩手医科大学) 演者：横山公章(弘前大学) 共催：アボットメディカルジャパン合同会社
14:00				
14:30				14:10～15:10 学術セミナー5 座長：渡邊博之(秋田大学) 演者：室原豊明 (名古屋大学大学院医学系研 究科循環器内科学) 共催：小野薬品工業株式会社
15:00				

第1会場 ライブチャンネル

1. YIA症例発表部門（ライブ配信） 12月4日(土) 8:30～9:30
(オンデマンド配信) 12月6日(月) 9:00～12月14日(火) 17:00

座長：渡辺 昌文

01 菌血症の加療中に急速拡大した冠動脈瘤へのコイル塞栓術で救命し得た1例

¹東北大学 循環器内科学、²東北大学 放射線診断科学、

³東北大学 腎・高血圧・内分泌科学

○高橋 亮吉¹、羽尾 清貴¹、樋口 慧²、大田 英揮²、金銅妃奈子³、
進藤 智彦¹、神戸 茂雄¹、西宮 健介¹、白戸 崇¹、高橋 潤¹、
高瀬 圭²、宮崎真理子³、安田 聡¹

02 重症心不全を呈した成人発症型ネマリンミオパチー

¹山形大学医学部附属病院 第一内科、

²山形大学医学部附属病院 先進心血管治療学講座、

³山形大学医学部附属病院 先進不整脈治療学講座

○後藤 準¹、大瀧陽一郎²、高畑 葵¹、田村 晴敏¹、橋本 直明¹、
和根崎真大¹、沓澤 大輔³、
加藤 重彦¹、西山 悟史¹、高橋 大²、有本 貴範¹、渡邊 哲¹、
渡辺 昌文¹

03 ペースメーカー植込後遠隔期に低酸素血症を呈したリバーズルーテンバッハー症候群の一例

¹秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学講座、

²秋田大学大学院医学系研究科 心臓血管外科学講座

○加藤 僚祐¹、田代 晴生¹、佐藤 輝紀¹、田村 善一¹、山崎 友也²、
和田 卓也²、高木 大地²、佐藤 和奏¹、関 勝仁¹、鈴木 智人¹、
寺田 健¹、山本 浩史²、渡邊 博之¹

04 慢性血栓塞栓性肺高血圧症を合併し肺動脈バルーン拡張術が著効したG6PD異常症の一例

福島県立医科大学 循環器内科学講座

○佐久間裕也、及川 雅啓、佐藤 栄奈、大橋 尚人、武藤 雄紀、
小林 淳、杉本 浩一、八巻 尚洋、中里 和彦、石田 隆史、
竹石 恭知

05 乳頭筋断裂による急性僧帽弁逆流に対して緊急経皮的僧帽弁クリップ術を施行し救命できた1例

¹岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野、

²岩手医科大学 心臓血管外科学講座、

³岩手県立中部病院 循環器内科

○長 捺希¹、中島 祥文¹、熊谷亜希子¹、田代 敦¹、二宮 亮¹、
後藤 巖¹、石曾根武徳¹、島田龍太郎¹、佐藤 慎¹、石川 有¹、
小島 香³、金 一²、森野 禎浩¹

第1会場 ライブチャンネル

2. YIA研究発表部門（ライブ配信） 12月4日(土) 9:30 ~ 10:30

（オンデマンド配信）12月6日(月) 9:00 ~ 12月14日(火) 17:00

座長：渡辺 昌文

06 慢性心不全の予後予測における脳血流SPECTを用いた認知機能評価の有用性について
公立置賜総合病院 循環器内科

○樫村 圭亮、新関 武史、水戸 琢章、須貝 孝幸、熊谷 遊、岩山 忠輝、
北原 辰郎

07 地方の急性心筋梗塞患者は100km離れたPCI high-volume centerまで搬送されるべきか？

¹岩手医科大学附属病院 内科学講座 循環器内科分野、²岩手県立中部病院、
³岩手県立磐井病院、⁴岩手県立胆沢病院、⁵岩手県立宮古病院、
⁶岩手県立二戸病院、⁷盛岡赤十字病院、⁸岩手県立久慈病院、
⁹岩手県立中央病院

○佐々木航人¹、肥田 頼彦¹、芳沢 礼佑¹、石川 有¹、伊藤 智範¹、
森野 禎浩¹、齊藤 秀典²、小野寺洋幸³、野崎 哲司⁴、前川 裕子⁵、
西山 理⁶、小澤 真人⁷、大崎 拓也⁸、中村 明浩⁹

08 体重別にみた急性心筋梗塞患者の臨床転帰における糖尿病の影響

弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科

○濱舘 美里、横山 公章、對馬 迪子、妹尾 麻衣子、市川 博章、木村 嘉宏、
西崎 史恵、渋谷 修司、横田 貴志、富田 泰史

09 心不全患者における心臓-肝臓連関の病態評価と肝臓由来ホルモン・ヘパトカインの意義

¹福島県立医科大学 医学部 循環器内科学講座、

²福島県立医科大学 保健科学部 臨床検査学科

○大原妃美佳¹、三阪 智史¹、義久 精臣^{1,2}、一條 靖洋¹、菅原由紀子¹、
富田 湧介¹、渡邊孝一郎¹、佐藤 悠¹、阿部 諭史¹、佐藤 崇匡¹、
及川 雅啓¹、小林 淳¹、中里 和彦¹、石田 隆史¹、竹石 恭知¹

10 重症大動脈弁閉鎖不全症患者の左房機能 一心エコーによる左房容積3D解析を用いて—

秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学講座

○大高 麻子、佐藤 和奏、小林 雄紀、鶴沼 真由、山中 卓之、須藤 佑太、
渡邊 博

第1会場 ライブチャンネル

3. 教育セッション1 (ライブ配信) 12月4日(土) 12:30 ~ 13:15
座長：東北医科薬科大学 内科学第一講座 教授 小丸 達也 先生
山形大学医学部 内科学第一講座 教授 渡辺 昌文 先生

「僧帽弁疾患に対する外科治療戦略」

山形大学医学部 外科学第二講座 教授 内田 徹郎 先生

4. 教育セッション2 (基礎研究セミナー)
(ライブ配信) 12月4日(土) 13:15 ~ 14:00

座長：福島県立医科大学 循環器内科学講座 教授 竹石 恭知 先生

「心臓間質における酸素パラドクス」

自治医科大学 分子病態治療研究センター 循環病態・代謝学研究部
(兼)附属病院循環器センター・内科部門 教授 武田 憲彦 先生

第2会場 ライブチャンネル

1. 学生・初期研修医AWARD (ライブ配信) 12月4日(土) 8:30~9:30
(オンデマンド配信) 12月6日(月) 9:00 ~ 12月14日(火) 17:00

座長：渡邊 哲

- 11 抗ミトコンドリア抗体陽性筋炎に伴う心筋症に対し副腎皮質ステロイド・シクロフォスファミドが著効した一例

¹東北大学病院 卒後研修センター、²東北大学病院 循環器内科、

³東北大学病院 リウマチ膠原病内科、⁴東北大学病院 脳神経内科

○石塚 充¹、鈴木 秀明²、高濱 博幸²、後岡広太郎²、照井 洋輔²、
迫田 みく²、矢尾板信裕²、山本 沙織²、佐藤 大樹²、佐藤 遥²、
秋田佳奈恵³、鈴木 直輝⁴、井泉瑠美子⁴、藤井 博司³、安田 聡²

- 12 COVID-19ワクチン接種後に急性心筋炎を発症した1例

¹仙台医療センター 初期研修医、²仙台医療センター 循環器内科

○渋谷 和之¹、笠原信太郎²、尾上 紀子²、黒瀬 裕樹²、高橋 佳美²、
江口久美子²、山口 展寛²、篠崎 毅²

- 13 劇症型心筋炎類似初期病像を呈した敗血症性ショックの一例

¹秋田大学医学部附属病院 総合臨床教育研修センター、

²秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学講座

○安田 拓人¹、佐藤 輝紀²、大高 麻子²、楡井 周作²、須藤 佑太²、
高木 祐介²、渡邊 博之²

- 14 左室心筋に高度石灰化を認めた劇症型心筋炎の一例

¹岩手県立中央病院 循環器内科、²岩手県立中央病院 病理診断科

○八木 沙月¹、三浦 正暢¹、澤田 駿¹、船木 崇裕¹、内村 久美¹、
薄田 海¹、安達 歩¹、畠山 翔翼¹、山田 祐資¹、加賀谷裕太¹、
佐藤謙二郎¹、齊藤 大樹¹、金澤 正範¹、近藤 正輝¹、遠藤 秀晃¹、
中村 明浩¹、八重樫 弘²

- 15 Goretexシートを用いた心膜補填後に生じた再発性収縮性心膜炎の一例

¹山形大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター、

²山形大学医学部附属病院 第一内科、

³山形大学医学部附属病院 先進心血管治療学講座、

⁴山形大学医学部附属病院 先進不整脈治療学講座

○齊藤 諒三¹、後藤 準²、高畑 葵²、大瀧陽一郎^{2,3}、田村 晴俊²、
橋本 直明²、和根崎真大²、沓澤 大輔^{2,4}、加藤 重彦²、西山 悟史²、
高橋 大^{2,3}、有本 貴範²、渡邊 哲²、渡辺 昌文²

第2会場 ライブチャンネル

2. ダイバーシティ推進フォーラム（ライブ配信）

12月4日(土) 9:30~11:00

(オンデマンド配信) 12月6日(月) 9:00~12月14日(火) 17:00

座長：西崎 史恵
渡部 賢

「This is it ! ~これが私の僕の循環器ライフ~」

各県代表者によるリアルタイム ディスカッション

学術セミナー ライブチャンネル

学術セミナー1 (ライブ配信) 12月4日(土) 10:40~11:40

座長：山形大学医学部附属病院 第一内科 病院講師 有本 貴範 先生
テーマ「脳卒中一次予防・二次予防のCross Talk」

講演1

日本医科大学大学院医学研究科 神経内科学分野 大学院教授 木村 和美 先生

講演2

東京医科歯科大学医学部附属病院 循環器内科 先進不整脈学 准教授

宮崎 晋介 先生

共催：第173回日本循環器学会東北地方会
ブリストルマイヤーズ スクイブ

学術セミナー2 (ライブ配信) 12月4日(土) 14:10~15:10

座長：弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座 教授
富田 泰史 先生

「心不全患者に対する心房細動カテーテルアブレーションの有用性」

埼玉医科大学国際医療センター心臓内科・不整脈科 教授 加藤 律史 先生

共催：第173回日本循環器学会東北地方会
バイエル薬品株式会社

学術セミナー3 (ライブ配信) 12月4日(土) 14:10~15:10

座長：東北大学 循環器内科学 教授 安田 聡 先生

「Early stageから始める心不全治療 -ARNIへの期待-」

山形大学医学部 内科学第一講座 准教授 渡邊 哲 先生

共催：第173回日本循環器学会東北地方会
ノバルティスファーマ株式会社

学術セミナー4 (ライブ配信) 12月4日(土) 14:10~15:10

座長：岩手医科大学 循環器内科学 教授 森野 禎浩 先生

「心不全の包括的治療戦略 ~MitraClipTMの可能性にせまる~」

弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座 講師 横山 公章 先生

共催：第173回日本循環器学会東北地方会
アボットメディカルジャパン合同会社

学術セミナー5 (ライブ配信) 12月4日(土) 14:10~15:10

座長：秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学 教授 渡邊 博之 先生

「慢性心不全薬物治療のパラダイムシフト ~心腎連関からみたSGLT2阻害薬~」

名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学 教授 室原 豊明 先生

共催：第173回日本循環器学会東北地方会
小野薬品工業株式会社

オンデマンドチャンネル

JCS 地方会セミナー

「日本発のデバイスを作ってイノベーションを起こそう！」

オンデマンドチャンネル 一般演題

虚血性心疾患 1

- 16 心室細動で搬送され、VA-ECMOとIMPELLA挿入により良好な経過を辿った左冠動脈主幹部急性心筋梗塞の一例

福島県立医科大学 循環器内科

○岡部 亮斗、阿部 諭史、和田 健斗、渡邊孝一郎、八巻 尚洋、
中里 和彦、石田 隆史、竹石 恭知

- 17 急性心筋梗塞の治療後、数時間で生じた急性ステント血栓症の一症例

福島赤十字病院 循環器内科

○坂本 和哉、芳賀 文香、阪本 貴之、渡部 研一、大和田尊之

- 18 FFR-CT偽陰性のLAD局所病変を有する多枝病変の一例

弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座

○廣澤 瞬、對馬 迪子、妹尾麻衣子、市川 博章、木村 嘉宏、
西崎 史恵、澁谷 修司、横山 公章、横田 貴志、富田 泰史

- 19 COVID-19パンデミックが急性心筋梗塞急性期医療に及ぼした影響についての検討

東北大学 循環器内科

○安齋 潤、羽尾 清貴、進藤 智彦、神戸 茂雄、西宮 健介、
白戸 崇、高橋 潤、安田 聡

- 20 一酸化炭素中毒急性期に急性心筋梗塞及び急性非代償性不全を発症したが、慢性期に心機能が正常化した一例

¹石巻赤十字病院 循環器内科、²石巻赤十字病院 初期臨床研修医

○小林 智貴¹、山中 多間¹、玉淵 智昭¹、高橋 徹也¹、豊島 拓¹、
黒川 佑¹、豊嶋 麻集¹、小山あずさ²

- 21 当院における超高齢者ACS症例に対するPCI治療成績

¹寿泉堂総合病院 循環器内科、²寿泉堂総合病院 研修医

○小池慎之介²、水上 浩行¹、西浦 司人¹、谷川 俊了¹

オンデマンドチャンネル 一般演題

虚血性心疾患 2

22 一般住民における高感度心筋トロポニンTと心血管疾患発症の関連

¹岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野、

²岩手医科大学 医歯薬総合研究所

○小林 敬正¹、那須 崇人¹、佐藤 衛²、森野 禎浩¹

23 心筋梗塞症例の入院前自立度と予後との関係

仙台市医療センター仙台オープン病院 循環器内科

○浪打 成人、青田 宏人、谷田 篤史、砂村慎一郎、牛込 亮一、
野田 一樹、瀧井 暢

24 急性心筋梗塞後に乳頭筋完全断裂を合併し、準緊急僧帽弁形成術にて救命しえた一例

¹仙台医療センター 循環器内科、²仙台医療センター 心臓血管外科

○黒瀬 裕樹¹、尾上 紀子¹、高橋 佳美¹、笠原信太郎¹、江口久美子¹、
山口 展寛¹、渡辺 卓²、篠崎 毅¹

25 植込み型ループレコーダーにて診断されたアセチルコリン負荷陰性の冠攣縮性狭心症の1例

東北医科薬科大学 内科学第一(循環器内科)

○住吉 剛忠、亀山 剛義、長谷川 薫、菊田 寿、関口 祐子、福井 重文、
山家 実、中野 陽夫、熊谷 浩司、小丸 達也

26 急性心筋梗塞後の中性脂肪管理にペマフィブラートが有効であった症例

弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座

○有田 速人、木村 嘉宏、對馬 迪子、妹尾麻衣子、市川 博章、
西崎 史恵、澁谷 修司、横山 公章、横田 貴志、富田 泰史

オンデマンドチャンネル 一般演題

心筋症・心筋炎・心内膜炎 1

27 Propionibacterium acnesによる脳出血合併再発性感染性心内膜炎の一例

東北大学循環器内科学

○小沼 翔、照井 洋輔、高濱 博幸、後岡広太郎、鈴木 秀明、
迫田 みく、矢尾板信裕、山本 沙織、佐藤 大樹、佐藤 遥、
安田 聡

28 迅速な病理診断、ECPELLAによる循環補助、免疫抑制療法による集学的治療で救命し得た巨細胞性心筋炎の一例

岩手県立中央病院 循環器内科

○澤田 駿、三浦 正暢、船木 崇裕、内村 久美、薄田 海、
安達 歩、畠山 翔翼、山田 祐資、加賀谷裕太、齊藤 大樹、
佐藤謙二郎、金澤 正範、近藤 正輝、遠藤 秀晃、中村 明浩

29 閉塞性肥大型心筋症様の左室流出路狭窄を合併したたこつぼ型心筋症の1例

東北大学 循環器内科学

○千葉 優子、神戸 茂雄、羽尾 清貴、進藤 智彦、西宮 健介、
白戸 崇、高橋 潤、安田 聡

30 全身性エリテマトーデスに伴う心膜心筋炎を背景として生じた、発作性上室性頻脈の一例

¹東北大学病院 卒後研修センター、²東北大学病院 循環器内科、

³東北大学病院 リウマチ膠原病内科

○渡嘉敷直之¹、鈴木 秀明²、高濱 博幸²、後岡広太郎²、照井 洋輔²、
迫田 みく²、矢尾板信裕²、山本 沙織²、佐藤 大樹²、佐藤 遥²、
野田 崇²、中野 誠²、長谷部雄飛²、千葉 貴彦²、石井 智徳³、
安田 聡²

31 キャッスルマン病による可逆性の心機能低下を認めた一例

山形県立中央病院 循環器内科

○中村 元治、橋本 直土、長谷川寛真、佐々木真太郎、大道寺飛雄馬、
高橋 克明、福井 昭男、玉田 芳明、矢作 友保、松井 幹之

オンデマンドチャンネル 一般演題

心筋症・心筋炎・心内膜炎2

32 抗ミトコンドリア抗体関連筋炎に合併した非虚血性心筋症に対し集学的治療が奏功した一例

日本海総合病院 循環器内科

○大野 紘枝、近江 晃樹、今井 洋汰、村形 寿彦、横山 美雪、
門脇 心平、禰津 俊介、保科 瑞穂、桐林 伸幸、佐藤 陽子、
菅原 重生

33 病理解剖所見より診断・治療を再考察しえた、難治性心臓限局サルコイドーシス(臨床診断群)の一例

弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座

○齋藤 数正、金城 貴彦、濱浦 奨悟、外山 佑一、西崎 公貴、
石田 祐司、伊藤 太平、木村 正臣、佐々木真吾、富田 泰史

34 メサラジンによる急性心膜心筋炎の一例

¹東北医科薬科大学病院 卒後臨床研修センター、

²東北医科薬科大学病院 内科学第一 循環器内科

○金井 咲綺¹、山家 実²、菊田 寿²、亀山 剛義²、福井 重文²、
中野 陽夫²、小丸 達也²

35 肺動脈弁感染性心内膜炎に対しウシ心膜を用いたOzaki法によって肺動脈弁再建術を施行した一例

山形県立中央病院 循環器内科

○橋本 直土、中村 元治、長谷川寛真、佐々木真太郎、大道寺飛雄馬、
高橋 克明、福井 昭男、玉田 芳明、矢作 友保、松井 幹之

36 感染性心内膜炎により膜性中隔穿孔をきたした大動脈一尖弁の一例

福島県立医科大学 医学部 循環器内科学講座

○大橋 尚人、小林 淳、佐藤 栄奈、菅原由紀子、武藤 雄紀、
八巻 尚洋、中里 和彦、竹石 恭知

オンデマンドチャンネル 一般演題

心不全・腫瘍・心膜・その他1

37 Destination therapyを行った重症心不全の2例

東北大学 心臓血管外科

○片平晋太郎、鈴木 佑輔、前田 恵、武富 龍一、伊藤 校輝、鈴木 智之、
高橋 悟郎、熊谷紀一郎、齋木 佳克

38 発作性心房細動を契機に診断治療に至った高齢女性に発症した左房粘液腫の一例

¹福島県立医科大学会津医療センター 循環器内科、

²竹田総合病院 心臓血管外科

○三宅真里世¹、星野 弘尊¹、菅井 義尚¹、玉川 和亮¹、鶴谷 善夫¹、
岡野 龍威²、前場 覚²、川島 大²

39 コルヒチンが著効した急性心膜炎の一例

¹岩手県立磐井病院 循環器内科、²岩手県立中央病院 総合診療科

○庄原 秀一¹、遠藤 浩司¹、鈴木 修¹、小野寺洋幸¹、齋藤 雅彦²

40 心嚢液貯留で発見された心臓原発悪性リンパ腫の一例

¹福島赤十字病院 循環器内科、²福島南循環器科病院 血液内科

○芳賀 文香¹、坂本 和哉¹、阪本 貴之¹、渡部 研一¹、大和田尊之¹、
野地 秀義²

41 特徴的な回旋運動が鑑別の一助となったcalcified amorphous tumor (CAT) の一例

秋田大学大学院 医学系研究科 循環器内科学講座

○鈴木 真由、佐藤 和奏、鈴木 智人、加藤 僚佑、加澤 隆康、
若木 富貴、渡邊 博之

オンデマンドチャンネル 一般演題

心不全・腫瘍・心膜・その他2

42 心不全患者の拡張末期三尖弁逆流は右室拡張障害と関連する

国立病院機構仙台医療センター 循環器内科

○高橋 佳美、黒瀬 裕樹、江口久美子、笠原信太郎、山口 展寛、
尾上 紀子、篠崎 毅

43 血清コリンエステラーゼ濃度は高齢者の心不全入院患者の予後を予測するか

栗原市立栗原中央病院 循環器内科

○尾形 剛、阿部翔太郎、深澤恭之朗、矢作 浩一、平本 哲也

44 植込み型補助人工心臓装着後の心不全に対しサクビトリルバルサルタンが著効した一例

福島県立医科大学附属病院 循環器内科学講座

○池田 彩乃、佐藤 崇匡、黒沢 雄太、安齋 文弥、清水 竹史、
竹石 恭知

45 刺し口がなく、診断に苦慮したツツガムシ病によるうっ血性心不全の1例

¹舟山病院、²山形大学医学部 第一内科

○舟山 哲¹、大瀧陽一郎²

46 一般住民における骨代謝マーカーと心血管疾患発症リスクファクターの関連

¹岩手医科大学 融合領域医学分野 ゲノムコホート研究 生体情報解析学、

²岩手医科大学附属病院 内科学講座 循環器内科分野

○菊池 熙人¹、那須 崇人¹、佐藤 衛¹、森野 禎浩²

オンデマンドチャンネル 一般演題

不整脈 1

47 発作性心房細動に対する高周波カテーテルアブレーション術後の再発予後因子の検討

東北医科薬科大学 内科学第一

○山口 琢矢、熊谷 浩司、佐藤 司、黒瀬 裕樹、住吉 剛忠、
長谷川 薫、関口 祐子、菊田 寿、亀山 剛義、山家 実、中野 陽夫、
福井 重文、小丸 達也

48 Ripple mapにより左房前壁心外膜側の伝導が推察されたFigure 8様僧帽弁輪旋回型心房頻拍の1例

大崎市民病院 本院診療部 循環器内科

○粕壁 幸恵、佐竹 洋之、辻 薫菜子、山内 毅、圓谷 隆治、竹内 雅治、
岩渕 薫

49 SICD植込み後早期の原因不明な不適切作動を接続シール不良が原因と判断し再発と再手術を回避できた一例

福島県立医科大学 循環器内科学講座

○天海 一明、山田 慎哉、根橋 健、野寺 穰、金城 貴士、
竹石 恭知

50 心房粗動アブレーション後に心房期外収縮頻発をきたし、血圧低値となり緊急で肺静脈隔離術を追加した1例

¹弘前大学医学部附属病院 循環器腎臓内科学講座、

²弘前大学医学部附属病院 心臓病遠隔管理システム開発学講座、

³弘前大学医学部附属病院 不整脈先進治療学講座、

⁴弘前大学医学部附属病院 高度救命救急センター

○梅崎 仁志¹、外山 佑一⁴、西崎 公貴¹、金城 貴彦¹、石田 祐司²、
伊藤 太平³、木村 正臣³、佐々木真吾¹、富田 泰史¹

51 発作性心房細動に対するクライオアブレーション後に急性胃拡張を呈した一例

岩手県立中央病院 循環器内科

○加賀谷裕太、澤田 駿、船木 崇裕、薄田 海、内村 久美、
畠山 翔翼、斎藤 大樹、佐藤謙二郎、金澤 正範、三浦 正暢、
近藤 正輝、遠藤 秀晃、中村 明浩

52 上大静脈アプローチが奏功した右前中隔副伝導路の一例

岩手医科大学附属病院 循環器内科

○菊池 彩加、大和田真玄、芳沢 礼佑、澤 陽平、佐々木弘揮

オンデマンドチャンネル 一般演題

不整脈2

53 Immediate recurred atrial fibrillation (IRAF)をdominant frequencyアブレーションにより回避した症例

東北医科薬科大学 内科学第一

○佐藤 司、熊谷 浩司、住吉 剛忠、長谷川 薫、関口 祐子、
菊田 寿、亀山 剛義、福井 重文、山家 実、中野 陽夫、
小丸 達也

54 心室細動発症に睡眠時無呼吸の関与が強く疑われたBrugada症候群の1例

秋田大学大学院 医学系研究科 循環器内科学講座

○鈴木 暢容、寺田 健、田代 晴生、岩川 英弘、大高 麻子、
渡邊 博之

55 Select Secure使用により、左上大静脈遺残からのリード留置が可能であった洞不全症候群の1例

東北大学 医学部 循環器内科

○千葉 貴彦、山本 惟彦、林 秀華、長谷部雄飛、中野 誠、
野田 崇、安田 聡

56 PENTARAY®によるhigh density mappingにて左心房内epicardial connectionが疑われた発作性心房細動の1例

仙台徳洲会病院 循環器内科

○福本 優作、小池 達也、上川 雄士、江里 正弘

57 肺移植後の心房頻拍に対してカテーテルアブレーションを施行した一例

東北大学病院 循環器内科

○山本 惟彦、中野 誠、林 秀華、千葉 貴彦、長谷部雄飛、
野田 崇、安田 聡

58 多彩な臨床所見を呈した放射線誘発性心疾患の一例

弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座

○和島 将太、西崎 公貴、濱浦 奨悟、外山 佑一、金城 貴彦、
石田 祐司、伊藤 太平、木村 正臣、佐々木真吾、富田 泰史

オンデマンドチャンネル 一般演題

弁膜症・大血管

59 当院におけるMitra Clip初期治療経験

山形大学医学部附属病院 第一内科 循環器内科

○枝村 峻佑、田村 晴俊、永井 貴之、高畑 葵、後藤 準、
土屋 隼人、橋本 直明、和根崎真大、大瀧陽一郎、沓澤 大輔、
加藤 重彦、西山 悟史、有本 貴範、高橋 大、渡邊 哲、
渡辺 昌文

60 カルチノイド症候群による三尖弁閉鎖不全症の一例

岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野

○後藤 巖、島田龍太郎、佐藤 慎、藤原 純平、永田 恭平、
那須 崇人、石曾根武徳、石川 有、中村真理絵、田代 敦、
森野 禎浩

61 演題取り下げ

62 Severe shaggy aortaを伴う胸部大動脈瘤に対する二期的ハイブリッド手術を施行した一例

(財)脳神経疾患研究所 附属 総合南東北病院 心臓血管外科

○太田 和寛、緑川 博文、植野 恭平、滝浪 学、湯田健太郎、
菅野 恵

63 胸部大動脈瘤破裂後に心肺停止となり、心拍再開後に緊急2 debranching TEVARを施行し救命し得た一例

総合南東北病院 心臓血管外科

○湯田健太郎、緑川 博文、太田 和寛、滝浪 学、植野 恭平、
菅野 恵

オンデマンドチャンネル 一般演題

肺高血圧・静脈

64 慢性骨髄性白血病治療薬ダサチニブに起因した肺動脈性肺高血圧症の一例

山形大学医学部附属病院 第一内科

○小山 響子、加藤 重彦、橋本 直明、和根崎真大、大瀧陽一郎、
沓澤 大輔、田村 晴俊、西山 悟史、高橋 大、有本 貴範、
渡邊 哲、渡辺 昌文

65 当院におけるバルーン肺動脈形成術立ち上げからの22セッションのまとめ

東北医科薬科大学 循環器内科学

○福井 重文、中野 陽夫、佐藤 司、長谷川 薫、菊田 寿、
住吉 剛忠、関口 祐子、亀山 剛義、山家 実、熊谷 浩司、
小丸 達也

66 心嚢液貯留を繰り返す肺高血圧症例にセレキシパグからトレプロスチニルへのSwitchingにより改善した症例

岩手医科大学医学部附属病院 循環器内科

○上田 寛修、高橋 信、下田 祐大、肥田 頼彦、臼井 雄太、
田口 裕哉、佐々木航人、島田 佳穂、石田 大、森野 禎浩

67 難治性下肢浮腫に対して下肢静脈へのEVTが奏功した2例

青森県立中央病院 循環器内科

○米倉 学、藤野 安弘、舘山 俊太、鈴木 晃子、今田 篤、
相馬 宇伸、金野 佑基

68 巨大子宮筋腫（HMU）による静脈血栓塞栓症（VTE）の2例

山形市立病院済生館 循環器内科

○片脇 航、屋代 祥典、金子 一善、中田 茂和、宮脇 洋

オンデマンドチャンネル 一般演題

成人先天性

- 69 冠静脈洞開口部閉鎖、左上大静脈遺残を合併した心筋症にCRT-D植込みを行い、左室リード挿入に難渋した一例

太田総合病院附属 太田西ノ内病院 循環器内科

○笠原 慎也、神山 美之、金澤 晃子、室田 定洋、小河原 峻、
脇岡奈保子、石田 悟朗、小松 宣夫

- 70 COVID-19罹患後にplatypnea-orthodeoxia syndromeを呈した一次孔欠損型心房中隔欠損症の一例

東北医科薬科大学 循環器内科

○佐藤 司、福井 重文、大原 貴裕、長谷川 薫、菊田 寿、
住吉 剛忠、関口 祐子、亀山 剛義、山家 実、中野 陽夫、
熊谷 浩司、小丸 達也

- 71 著明な右心拡大を伴うファロー四徴根治後の肺動脈弁閉鎖不全に対する手術

東北大学病院 心臓血管外科

○松尾 諭志、齋木 佳克、熊谷紀一郎、高橋 悟朗、片平晋太郎、
鈴木 智之、鈴木 佑輔、伊藤 校輝、前田 恵、板垣 皓太、
大谷 将之、武富 龍一

- 72 著明な右心機能低下を認めたファロー四徴症（TOF）術後に対してTAP、PVRを施行した症例

¹東北大学循環器内科学 循環器内科学、

²東北大学循環器内科学 心臓血管外科

○山本 沙織¹、矢尾板信裕¹、佐藤 大樹¹、佐藤 遥¹、高濱 博幸¹、
鈴木 秀明¹、照井 洋輔¹、迫田 みく¹、松尾 諭²、後岡広太郎¹、
齋木 佳克²、安田 聡¹

審 査 会 ・ 会 議

学生・初期研修医AWARD審査会 9：40～10：10（第3会場 研修室B）

YIA審査会 10：40～11：10（第3会場 研修室B）

支部役員会 11：10～11：40（第3会場 研修室B）

支部評議員会 11：50～12：20（第1会場 アプローチ1）

*支部社員総会、支部評議員会について、一般会員の先生方はライブ配信で視聴できますが、議決権は有しません。

一般社団法人日本循環器学会 支部規程

(総則)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会（以下「日本循環器学会」という）各地区の支部（以下「各支部」という）の遵守すべき事項を定める。

(事務局)

第2条 各支部の事務局は、日本循環器学会定款施行細則に定める地区に置く。

(目的および事業)

第3条 各支部は日本循環器学会の目的達成のため次の事業を行う。

- 1) 地方会の開催
- 2) 日本循環器学会国際トレーニングセンター（JCS-ITC）としての講習会等の開催
- 3) 日本循環器学会本部からの委託事項の処理
- 4) その他目的の達成に必要な事業

(会員)

第4条 各支部の会員は、当該地区に所属する日本循環器学会の正会員および準会員とする。

2. 支部名誉会員/支部特別会員/支部顧問等の設置は各支部役員会で定めることとする。

(社員)

第5条 社員とは、日本循環器学会定款及び定款施行細則に基づき選出された各支部に所属する社員をいう。

(支部長)

第6条 各支部に支部長1名を置く。

2. 支部長は定款に基づき選出された支部所属理事の協議で決定し、支部社員総会において報告する。
3. 支部長は支部を統括する。
4. 支部長の任期は2年とし、再任を妨げない。

(支部役員)

第7条 各支部に支部役員を若干名置く。

2. 支部役員は支部所属理事及び支部長の推薦で選出された会員とし、支部長を除いた支部役員を支部社員総会で承認する。
3. 支部役員は、地方会、事業計画・報告、予算・決算、その他支部長の求めに応じて支部運営にあたる。
4. 支部役員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(支部監事)

第8条 各支部に支部監事を若干名置く。

2. 支部監事は支部長が候補者を会員から推薦で選出し、支部社員総会で承認する。
3. 支部監事は支部の監査を行い、不正の事実があれば支部社員総会及び日本循環器学会本部に報告する。
4. 支部監事の任期は2年とし、連続して就任できる期数は3期までとする。

(支部幹事)

第9条 各支部に支部幹事を若干名置く。

2. 支部事務局担当幹事およびJCS-ITC担当幹事の設置は必須とする。
3. 支部幹事は支部長が会員から選出する。
4. 支部幹事は支部長を補佐し、役員会/社員総会において会計報告及びJCS-ITC業務の報告等を行う。
5. 支部幹事の任期は支部長の任期に準じ、再任を妨げない。

(支部評議員)

第10条 各支部に支部評議員を置くことができる。

2. 支部評議員は会員から選出する。
3. 支部評議員は支部業務を補佐する。
4. 支部評議員の選出方法/任期/定年等は各支部役員会で定めることとする。

(地方会会長)

第11条 各地方会に会長1名を置く。

2. 地方会会長は支部役員会の推薦で選出し、支部社員総会において承認する。
3. 地方会会長は地方会を主催し、その経理/事業内容を支部役員会及び支部社員総会に報告する。
4. 地方会会長の任期は、主催地方会にかかる業務が完了するまでとする。

(支部役員会)

第12条 支部役員会は、支部役員で構成する。

2. 支部役員会は年1回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の承認
 - 2) 地方会会長の選出
 - 3) 支部運営上重要な規則の承認
 - 4) その他本支部の運営に必要な事項の確認 (JCS-ITC 報告など)
3. 予算もしくは事業計画に大幅な変更が見込まれる場合には臨時支部役員会を開催しなければならない。
4. 支部役員会は支部長が招集し議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。
5. 支部役員会は過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部役員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
6. 支部役員会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部社員総会)

第13条 支部社員総会は、社員で構成する。

2. 支部社員総会は年1回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の確認
 - 2) 決定された支部長の確認
 - 3) 支部役員・支部監事・地方会会長の承認または解任
 - 4) 支部運営上重要な規則の確認
 - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部社員総会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の互選により選出する。
4. 支部社員総会は支部社員の過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部会員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
5. 支部社員総会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部評議員会)

第14条 支部評議員会は、支部評議員で構成する。

2. 支部評議員会は年1回以上開催し、以下の事項の報告を受ける。
 - 1) 予算・決算
 - 2) 事業計画および事業報告
 - 3) 地方会会長及び地方会開催地
 - 4) 支部長の選出結果
 - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部評議員会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。

(支部事務局業務)

第15条 支部事務局業務とは、支部役員会、支部社員総会、支部評議員会の運営、各事業の補助等をいう。

2. 支部事務局業務は、原則支部年会費収入の範囲内で収支均衡に努めなければならない。
3. 支部事務局業務にかかる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、支部事務局担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20万円未満が支部長承認、20万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。
4. 各支部は全事業の会計報告を毎月すみやかに本部事務局に報告することとする。

(地方会)

第 16 条 各支部は地方会を年 1 回以上開催する。

2. 地方会に演題を提出する者は原則として会員でなければならない。
3. 地方会収支について、原則、収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
4. 地方会において新たな試みを実施する場合は、事前に地方会会長と支部長で協議を行うこととする。
5. 地方会における参加費等の現金取り扱いについて、不正や過誤が発生しない体制を整えなければならない。
6. 地方会の経費精算は、地方会会長もしくは会長が定めた者が内容を確認したうえで実施する。なお全ての精算を原則地方会終了後 2 ヶ月以内に完了させること。

(JCS-ITC 講習会)

第 17 条 各支部は JCS-ITC 講習会を JCS-ITC 担当幹事が計画を取り纏め、開催する。

2. 講習会収支について、原則収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
3. JCS-ITC 講習会に関わる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、JCS-ITC 担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20 万円未満が支部長承認、20 万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。

附則

- 1) 本規則は、平成 27 年 2 月 1 日から試行期間とし、平成 28 年 4 月 1 日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

支部コンプライアンス・倫理規程

(目的)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会全支部（以下「支部」という）におけるコンプライアンスに関し基本となる事項を定め、もって健全で適正な学会運営及び社会的信頼の維持に資することを目的とする。

(定義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- 1) コンプライアンスとは、法令、各支部の諸規則を遵守することをいう。
- 2) 支部役職者とは、支部に所属する支部長・支部役員・支部監事・支部幹事・地方会会長をいう。
- 3) 支部職員とは、支部の事務を担当する職員をいう。
- 4) コンプライアンス事案とは、支部の構成員にかかわる法令又は定款等の本学会諸規則や支部会則等に違反、または違反するおそれのある事案をいう。

(支部役職者及び支部職員の責務)

第3条 支部役職者・支部職員は、支部の定める理念および目標を実現するため、それぞれの責任を自覚し、コンプライアンスの重要性を深く認識するとともに、人権を尊重し、高い倫理観を持って行動しなければならない。

2. 支部役職者・支部職員は、次に掲げることを理由として、自らのコンプライアンス違反行為の責任をのがれることはできない。

- 1) 規程について正しい知識がなかったこと
- 2) 規程に違反しようとする意思がなかったこと。
- 3) 支部の利益に資する目的で行ったこと

附 則

- 1) 本規則は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

一般社団法人日本循環器学会 東北支部運営内規

平成 28 年 4 月 1 日施行

平成 30 年 6 月 2 日改定

令和 2 年 8 月 23 日改定

(総則)

第 1 条 この内規は、一般社団法人日本循環器学会支部規程を東北支部（以下「本支部」という。）において運用するために必要な事項を規定し、円滑な学会活動を推進することを目的とする。

(支部事務局)

第 2 条 本支部における支部事務局を東北大学大学院医学系研究科循環器内科学内に設置する。

(支部長・副支部長)

第 3 条 2 年毎に行われる理事選出選挙の後、第 6 条 2 項に沿い支部長を決定するが、支部長の任期開始日は理事就任開始日からとする。

2. 支部長は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
3. 支部長が本支部とは別の支部に異動した場合、支部長として退任となる。

第 4 条 本支部に副支部長 1 名を置く。

2. 副支部長は支部所属理事の中から協議で決定し、支部社員総会において報告する。
3. 支部長に事故あるとき、または支部長が別支部へ異動したとき、副支部長を新たな支部長とする。この場合の任期は、退任した支部長の任期に準ずる。

(支部役員)

第 5 条 支部役員は、支部規程第 7 条 1 項に沿い、支部所属理事の他、支部長推薦枠として本支部においては、会員である東北地区 7 大学の循環器を担当する内科の教授が就任することとする。その他にも支部役員として必要な人物がいる場合は、支部長が推薦する。

2. 任期中において各大学教授の交代があった場合は役員も変更となるが、就任期間は前任者を引継ぐこととする。
3. 支部役員は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部監事)

第 6 条 支部規程第 8 条 1 項に定める支部監事の定数は、本支部においては 2 名とする。

2. 支部規程第 8 条 2 項に定める支部監事の選出について、本支部においては、支部運営から独立性をもった者を、支部長が候補者を会員から選出することとする。なお独立性を鑑み、支部役員、支部幹事との兼務は不可とする。
3. 支部監事は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部幹事)

第 7 条 支部規程第 9 条に定める支部幹事は、本支部においては支部事務局担当幹事 1 名、JCS-ITC 担当幹事 1 名、その他幹事を若干名とし、支部役員、支部評議員との兼務も可能とする。

2. 支部幹事は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
3. 支部事務局担当幹事ならびに JCS-ITC 担当幹事は、それぞれの業務における月度毎の収支状況を

モニタリングし、予算進捗確認を行わなければならない。予算に対し収支悪化の場合は、対策を検討し支部長へ報告すること。また収支改善の場合は、その資金活用方法について検討し支部長へ報告することとする。

4. JCS-ITC 業務担当幹事は、会員かつファカルティの中から選出することとする。ファカルティがない場合は会員かつコースディレクターの中から選出する。
5. 支部幹事は、それぞれの業務において投資が必要な場合は、事業計画、予算において明確化し、支部役員会・支部社員総会において発言し、承認を得なければならない。

（支部評議員）

第 8 条 支部規程第 10 条に定める支部評議員は、支部役員 1 名の推薦により選出し、支部役員会及び支部社員総会において承認する。

2. 候補者は、支部役員会予定日より 15 日以前に所定の用紙を用いた履歴書、業績書及び支部役員 1 名が署名・捺印した推薦書を支部長へ提出する。
3. 支部評議委員会に正当な理由なく 3 回連続して欠席した者、退会した者、東北地区から移動した者は、支部評議員の資格を喪失する。
4. 支部評議員の任期は 4 年とし再任は妨げない。
5. 支部評議員の辞職は支部役員会及び支部社員総会において承認する。
6. 支部評議員の期中での辞職については、速やかに補充を行うこととし、支部役員会にて承認した上で、後日支部社員総会において追認する。なお任期は前任者を引継ぐこととする。

（地方会会長）

第 9 条 地方会会長は、「支部コンプライアンス・倫理規程」に定められた内容を遵守しなければならない。

2. 地方会会長は、「臨床研究の利益相反に関する共通指針の細則」に定められた様式の利益相反の自己申告書を支部長経由で本会へ提出しなければならない。
3. 地方会会長は、地方会開催日程の決定を行う。
4. 地方会の主題および演題の選定および採択は、会長が裁量する。
5. 地方会実施にあたり、会長の推薦にて会長校事務局長を任命してよい。会長校事務局長は、会長からの指示に基づき、地方会運営を補助することとする。
6. 地方会運営にあたる企画会社の選定は、会長一任とするが、企画会社手数料が過多とならないことを事前に確認しなければならない。
7. 地方会開催にあたり収入の受入れ、費用の精算の為、会長名において専用口座を開設しなければならない。口座開設と同時にキャッシュカードを作成する場合は、会長から使用者・保管者を指名し、それ以外のものが利用出来ない体制を構築しなければならない。
8. お届け印、通帳は会長または会長が指名した者が保管する。保管にあたっては必ず施錠し、本人のみが解錠出来る体制としなければならない。

（支部名誉会員）

第 10 条 支部規程第 4 条 2 項に定める支部名誉会員は、東北地区単独の支部社員総会において選任する

2. 支部名誉会員の被推薦資格は、支部社員総会開催日において年齢 65 歳以上（当日に 65 歳を迎え

る者を含む)の東北支部所属の会員であり、支部評議員を3期以上務めたものとする。

3. 支部名誉会員は、支部評議員会に出席することができる。また、支部社員総会にも出席することができるが議決権は有しない。
4. 支部名誉会員は、支部役員、支部幹事の兼務を不可とする。
5. 支部名誉会員は、永年資格とする。
6. 支部名誉会員の内、東北地方会で会長を務めた者、支部長を務めた者は、支部特別名誉会員と呼ぶ。処遇は支部名誉会員に準用する。

(支部社員総会、支部評議員会)

第11条 支部規程第13条に定める支部社員総会、支部規程第14条の支部評議員会は、同時開催することとする。

(支部事務局業務)

第12条 支部規程第15条における支部事務局業務は、事務局担当幹事を補佐し、円滑に業務を遂行することを目的として、本業務に従事する人員を支部役員会の承認のもと採用しても構わない。雇用条件の変更がある場合は、支部役員会での承認を必要とする。

(地方会)

第13条 支部規程第16条1項に定める地方会について、本支部は原則として毎年2回地方会を開催する。

2. 地方会の名称は、第〇〇回日本循環器学会東北地方会とする。
地方会運営に関するその他の事項は地方会運営要領に定めることとする。

(JCS-ITC 講習会)

第14条 支部規程第17条1項に定めるJCS-ITC講習会について、本支部はJCS-ITC業務担当幹事との協議により支部事務局において事務業務(受講者への連絡、受講料受付・謝金や立替金の精算等)を行う。なお、これらの事務業務について、円滑に業務を遂行することを目的として、支部役員会の承認のもと、外部業者へ業務委託を行っても構わない。委託範囲・経済条件の変更がある場合は、支部役員会での承認を必要とする。

2. JCS-ITC講習会の事務業務についてはJCS-ITC講習会事務要領に定めることとする。

附則

- 1) この内規は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この内規改正は、支部役員会において審議し、支部社員総会にて決定する。

一般社団法人日本循環器学会 東北支部 地方会運営要領

平成 28 年 4 月 1 日施行

令和 3 年 6 月 5 日改定

この地方会運営要領は、一般社団法人日本循環器学会東北支部（以下「本支部」という）において地方会を円滑に運営するために必要な事項を規定する。

（広報）

- 1 地方会会長は、地方会開催日程、会場、地方会会長事務局の担当者が決まり次第、本支部へ報告する。本支部は「地方会開催連絡票」を本会へ提出するとともに、本支部ホームページに情報を掲載することとする。
- 2 本支部地方会に関する事項は、本会の会告及びその他の手段により会員に広報する。

（会計）

- 3 地方会会長、または、支部事務局担当幹事は、開催前年度の支部役員会・支部社員総会に出席して、本部へ提出予定の地方会予算及び事業計画について事前に承認を得る。また、支部評議員会にて報告を行う。ただし、地方会会長の出席がかなわない場合は代理を立てることができる
- 4 地方会参加費は、正会員 3,000 円、コメディカル 1,000 円、初期研修医無料、学部学生無料とする。参加費を変更する場合は支部役員会での承認を必要とする。
- 5 地方会での寄付の受入は、「寄付金取扱規程」に基づき対応する。なお寄付金受入先について、本会が禁煙宣言を行っている学会であることを鑑み、本会学術集会同様、日本たばこ産業・鳥居薬品からの寄付受入は禁ずる。
- 6 地方会において市民公開講座及び託児室設置を実施する場合は、本支部よりその経費を補助する。ただし、上限を 100 万円とする。補助金は、経費内訳及び証憑書類の提出を持って交付するものとする。
- 7 地方会において男女共同参画セミナーを実施する場合は、本支部より講師招請経費を補助する。ただし上限を 20 万円とする。補助金は、経費内訳及び証憑書類の提出を持って交付するものとする。
- 8 地方会開催にあたり開設する金融機関の口座名義は、「一般社団法人日本循環器学会 第〇〇回東北地方会 会長 〇〇〇〇」とする。
- 9 地方会当日の現金（参加費）の取扱いについて、不正や過誤が発生しないよう関係するスタッフの教育を十分行わなければならない。
- 10 地方会当日に徴収した参加費について、当日中に口座入金するか金庫に保管することとする。地方会終了後、翌営業日には口座入金することとする。
- 11 教育講演の招請者への待遇について、謝金上限は演者 100,000 円（源泉税抜）、座長 50,000 円（源泉税抜）、交通費は実費支給とし、地方会当日、直接本人へ現金もしくは振込対応する。これ以外の対応を行う場合は、支部役員会での承認が必要とする。
- 12 地方会で支払われた講演謝金及び会長校スタッフ臨時雇用費の源泉所得税は、地方会会長事務局において納付対応する。なお東北支部事務局から参加したスタッフ臨時雇用費は、東北支部事務局において納付対応する。

- 13 地方会経費の精算は、リスク管理の観点から現金での精算を禁じ、原則請求書対応とする。請求書対応が難しい場合は、企画会社・スタッフによる立替精算を行い、後日レシートや領収書をもとに精算する。
- 14 地方会終了後、余剰金が発生した場合、支部管轄の地方会繰越金専用口座に振り込むこととし、地方会開催に関係無い備品等の購入に充ててはならない。その後、口座は解約する。
- 15 地方会の経費精算は、原則地方会終了後2か月以内に完了させ、入出金に係るすべての証憑を本支部に提出しなければならない。外部の団体から助成金・補助金を受けた場合は、交付決定通知書の控えも提出すること。
- 16 地方会会長は、開催次年度の支部役員会・支部社員総会、支部評議員会に出席して、地方会決算及び事業内容の報告を行う。ただし、地方会会長の出席がかなわない場合は代理を立てることができる。

(会議)

- 17 支部役員会を地方会当日に開催する。議案書及び議事録は本支部事務局が作成することとする。地方会会長事務局は、本支部の求めに応じて当日の受付及び配布資料の準備等を行う。
- 18 支部社員総会、支部評議員会を地方会当日に開催する。議案書及び議事録は本支部が作成することとする。地方会会長事務局は、本支部の求めに応じて当日の受付及び配布資料の準備等を行う。
- 19 地方会における華やかな懇親会の開催を禁じる。

(演題募集)

- 20 地方会会長は、演題募集スケジュールを決定し、「地方会演題募集ホームページ利用申請書」を本会及び本支部へ提出する。演題募集の開始日・締切日は前後に祝日のない火曜日から木曜日で設定すること。申請書の提出期限はオンライン演題募集システム利用開始の2カ月前とする。
- 21 本支部は、オンライン演題募集システムの管理者用ID及びパスワードを地方会会長事務局へ通知する。なお、パスワードについては、本支部が毎年度更新することとし、変更後のパスワードを本会に通知する。
- 22 募集締切日延長等の連絡は、混乱を避けるために必ず本会経由で行うこととする。

(専門医単位登録)

- 23 地方会会長は、詳細が決まり次第「教育セッション開催届」ならびに「DVDセッション開催届」(DVDセッションを開催する場合に限る)を本会及び本支部へ提出しなければならない。
- 24 地方会会長事務局は、地方会時に専門医単位登録(地方会参加5単位、教育セッション参加3単位、DVDセッション参加2単位)を行うこととするが、本会から明示された「単位登録の運営方法について」に沿って対応しなければならない。
- 25 教育セッション及びDVDセッションの専門医単位登録は、不正やミスを防止するため、時間を限定して行わなければならない。(例:セッション開始1時間(又は30分)前から終了30分前)
- 26 DVDセッションについて、同じ内容の講演会を学術集会及びインターネットで聴講したことのある会員は、単位加算ができない。地方会会長は事前にプログラム等でその旨を告知し、当日も会場に掲示すること。

(プログラム・抄録)

- 27 プログラムは、本学会告（偶数月 25 日発行）への抱き合わせで本支部会員へ発送することができる。希望する場合は、「地方会プログラム冊子抱合発送申請書」を本会及び本支部へ提出すること。プログラム以外の発送物（チラシ等）があれば、その内容を申請書に明記すること。申請書の提出期限は、会告発行 1 か月前とする。
- 28 抄録については、冊子発行を行わず本会ホームページに掲載する。本会ホームページへの掲載にあたり、抄録著者による校正は行わない。訂正等がある場合には、地方会終了後速やかに本会へ連絡することとする。なお、地方会会長事務局は、その旨をプログラムに記載し会員に告知すること。
- 29 プログラム完成後、本支部へ 2 部、本会へ 5 部を送付すること。
- 30 地方会会長は、抄録データを本会に提出しなければならない。当日発表されなかった演題は抄録データとして扱わない。

（演題発表）

- 31 地方会演者は、発表前のスライドにおいて定められた様式「利益相反の自己申告書」を提示する必要がある。
- 32 日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award について
 - 1) 当支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award」(東北地方会 YIA「症例発表部門」「研究発表部門」)を設ける。
 - 2) 東北地方会 YIA の応募資格、応募方法、演題応募要領は以下に記載する。ただし、地方会主催の当番校会長の裁定をもって変更は許可されるものとする。

① 応募資格

日本循環器学会員であり、各地方会開催日において満 35 歳以下の方。

東北地方会において過去に YIA を受賞した者は、最優秀賞・優秀賞を問わず、同じ部門への再応募はできない。他部門への申請は可とする。

② 対象演題

日本循環器学会東北地方会で行われた循環器学に関する臨床・基礎研究、且つ、症例報告を受け付ける。発表時点で印刷公表されていない演題内容を対象とする。ただし、応募者は筆頭演者でありその内容に中心的役割を果たしたものであることを必要とする。他の学会賞への応募と重複しないこととし、各部門毎に 1 施設 2 題(ただし 1 科 1 演題)までの応募とする。本 YIA は症例発表部門と研究発表部門それぞれで選考と表彰を行う。

③ 選考方法

地方会演題募集時に YIA 応募希望を募り、地方会開催時には希望演題のみを対象とする YIA セッションを設ける。選考委員は本セッションに参加し、引き続き開催される YIA 審査委員会において厳重な審査を行う。症例発表部門と研究発表部門それぞれで最優秀賞 1 名および優秀賞若干名選定する。なお、希望演題数が各部門 5 題を超えた場合は、予め選考委員による第一次審査を行う。

④ 会長奨励賞

YIA 希望演題の内、一般病院の演題から 1 題を会長奨励賞としてあらかじめ選出しておき、当日表彰が行われる旨を演者に通知する。ただし、この演題が YIA 最優秀賞または優秀賞に選出された場合は YIA を優先し、その回の会長奨励賞はなしとする。

⑤ 応募方法

一般演題応募と同様に日本循環器学会ホームページより登録。Young Investigator's Award 応募希望者は応募資格を確認のうえ、「YIA に応募する」にチェックを入れ、症例発表部門と研究発表部門のどちらに応募するかを予め明記する。

⑥ 賞

部門毎に最優秀賞1名(賞金 10 万円)および優秀賞若干名(賞金 5 万円)と表彰状。同点の場合は要検討とする。会長奨励賞は1名(賞金 5 万円と表彰状)。

⑦ 締切り

一般演題締切日と同日とする。一次審査後採択されなかった場合は、自動的に一般演題に採択される。

- 3) YIA 選考委員会は大会長を選考委員長として、各県大学の循環器内科教授 6 名と大会長が選出する 6 名の選考委員の計 12 名で構成される。ただし、宮城県に於いては東北大学と東北医科薬科大学の教授が交代で務めることとする。選考委員に代理を置く場合は、教授選考員の場合は教室の准教授または講師に委託し、その他の 6 名の選考委員については大会長が再度選出する。

33 日本循環器学会東北地方会 学生・初期研修医 AWARD について

- 1) 当支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 学生・初期研修医 AWARD」を設ける。
- 2) 東北地方会 学生・初期研修医 AWARD の応募資格、応募方法、演題応募要領は以下に記載する。ただし、地方会主催の当番校会長の裁定をもって変更は許可されるものとする。

① 応募資格

各地方会開催日において学生・初期研修医の方(日循会員の有無は不問)。

東北地方会において過去に学生・初期研修医 AWARD を受賞した者は、再応募はできない。

② 対象演題

筆頭演者である応募者が担当医として治療を行った症例報告もしくは重要な役割を果たした研究で、演題募集締切日までに他の学会で未発表かつ印刷公表されていない演題内容を対象とする。他の学会賞への応募と重複しないこととし、1 施設 2 題(ただし 1 科 1 演題)までの応募とする。

③ 選考方法

地方会演題募集時に学生・初期研修医 AWARD 応募希望を募り、地方会開催時には希望演題のみを対象とするセッションを設ける。選考委員は本セッションに参加し、引き続き開催される審査委員会において厳重な審査を行う。なお、希望演題数が 5 題を超えた場合は、予め選考委員による第一次審査を行う。

④ 応募方法

一般演題応募と同様に日本循環器学会ホームページより登録。学生・初期研修医 AWARD 応募希望者は応募資格を確認のうえ、「学生・初期研修医 AWARD に応募する」にチェックを入れ応募する。

⑤ 賞

最優秀賞1名(賞金 10 万円)および優秀賞若干名(賞金 5 万円)と表彰状。同点の場合は要検討とする。

⑥ 締切り

一般演題締切日と同日とする。一次審査後採択されなかった場合は、自動的に一般演題に採択される。

- 3) 研修医 AWARD 選考委員会は会長校の准教授を選考委員長として、各県大学の循環器内科准教授／講師／助教より 6 名と、大会長が選出する 6 名の選考委員(循環器専門医研修施設より選出)の計 12 名で構成される。ただし、宮城県に於いては東北大学と東北医科薬科大学の准教授が交代で務めることとする。

(その他)

- 34 会員への印刷物送付等の必要が生じた場合、本会へ「会員名簿・あて名作成依頼書」を提出して会員名簿及び宛名ラベルを請求することができる。会員情報のデータでの受け取りは原則不可とするが、例外的に申請する場合は、誓約書に会長の署名及び捺印が必要となる。
- 35 地方会開催校については、公平を期すため各県で順番に開催する。なお、その順番等の変更については、支部役員会にて決定する。

附則

- 1) この要領は、平成 27 年 2 月 1 日から試行期間とし、平成 28 年 4 月 1 日から完全実施とする。この要領改正は、支部長の判断に基づき、支部事務局にて変更して良い。なお、変更時は、支部役員会での追認が必要となる。

一般社団法人日本循環器学会 東北支部 JCS-ITC 講習会事務要領

この事務要領は、一般社団法人日本循環器学会東北支部事務局において JCS-ITC 事務業務（受講料受付・謝金や立替金の精算 等）を行うために必要な事項を規定する。

日本循環器学会は AHA(アメリカ心臓協会)と契約し、心肺蘇生法の教育を行う JCS-ITC(国際トレーニングセンター)を開設している。循環器専門医は心停止や心停止前後での蘇生や心拍再開後の集中治療を必要としていることから、AHA ACLS(二次救命救急措置)の資格取得を受験の条件としている。

また、医療従事者や一般市民向けのコースも開催しており、地域の救命率向上を目指していることから支部にてコース運営を行っており、それに付随する事務業務も支部事務局にて行っている。

※支部運営内規 第 6 条 3 にて定められる JCS-ITC 業務担当幹事はファカルティから選出される。

ファカルティは各コースの運営統括責任者であり、新たなインストラクターを教育する立場である。

1. 年 4 回のインストラクター一覧更新時に、本会事務局より受領したインストラクター一覧を支部長ならびに幹事に提出すること。
2. コース開催日程は、支部ホームページに掲載することとする。
3. コース募集期間中、コースディレクター（以下、CD と略す）と連携を取り、受講者からの問い合わせ対応を行うこと。
4. 下記内容についての受講者への連絡を行うこと。
採択通知、追受講者の代理登録（CD より指示があった場合）、会場変更、コース中止
5. 講習会管理システムから受講者を確認し、受講者からの受講料入金確認を行うこと。規定日までに入金が確認できない場合には、入金の督促を行うこと。
6. 受講者より受講料領収書の発行依頼があった場合の発行手続きを行うこと。
7. 支部担当者が交代する場合には業務内容を明確の上、後任者へ引継ぎを行い、業務に支障が生じないようにすること。また支部担当者が急病等で業務を行えない場合は、事務局担当幹事より JCS-ITC 業務幹事に速やかに連絡をし、JCS-ITC 業務幹事と支部長において今後の対応を検討すること。
8. 業務管理を明確化することを目的として、JCS-ITC 業務専用の口座を開設してよい。
9. 専用口座は、通帳管理者・印鑑管理者・キャッシュカード使用者（作成している場合のみ）を明確にし、一覧にして支部長へ提出しなければならない。（一覧に変更が生じた場合は随時、見直しを行い更新の上、提出する。）
10. 専用口座の通帳、印鑑は、使用者が施錠出来る場所に必ず保管しなければならない。また、キャッシュカード、パスワードについては使用者が変更となる度に変更しなければならない。
11. コース開催時にコースディレクター等が昼食代等の立替精算をした場合、必ず領収書（レシート可）を入手し、何を購入し、何に利用したのか、誰が立替えしたのか、分かるように領収書に記載（メモ書き可）の上、支部事務局へ提出すること。なおコース運営が参加者の受講料から成り立っていることを鑑み、不必要な経費支出は行ってはならない。
12. コース終了後、コースディレクターは参加インストラクター・タスクと各自立替えしたコース開催地までの交通費について、支部事務局へ報告しなければならない。支部事務局はコースディレクターからの報告に基づき、インストラクター・タスク一覧を作成する。
13. 各コースディレクターがコースに必要な資金を前に仮払金として引出して使用する場合は、予め仮払金申請書を作成し、JCS-ITC 業務担当幹事のメール承認を要する。
なお、JCS-ITC 業務担当幹事がコースディレクターとなる場合は、支部長のメール承認を要する。

14. 経費精算において、振込対応では無く、上記の仮払金を活用し現金にて謝金精算や立替精算を行う場合は、必ず受領者から支部宛ての領収書を頂き、証憑として支部事務局へ提出しなければならない。
15. 支部事務局は、インストラクター・タスク一覧、提出された旅費申請書、領収書等に基づき、謝金（交通費・宿泊費含む）・立替金の精算を行う。また謝金源泉税分の納税を行う。（謝金金額については本会、救急医療委員会において定められたとおりとする。また旅費申請書、領収書等の証憑が無いものの精算は出来ない。）
16. 支部事務局は、収入・経費を取纏め（漏れが無いこと、経費使用理由等が明確であること等を再確認）の上、本部事務局へ提出し会計ソフトへの入力を依頼する。
17. JCS-ITC 講習会運営専用口座で余剰金が 1000 万円を超えた場合、支部の JCS-ITC 講習会専用口座に資金を移行する。

附則

- ・この要領は、平成 27 年 2 月 1 日から試行期間とし、平成 28 年 4 月 1 日から完全実施とする。
- ・この要領改正は、支部役員会での決定を必要とする。

日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award 会則

平成 28 年 4 月 1 日施行

平成 30 年 6 月 2 日改定

1. 日本循環器学会東北支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award」(東北地方会 YIA)を設ける。
2. 本会則は平成21年2月14日に開催される第147回東北地方会から有効とし、本会則の変更は総会で審議・決定される。
3. 東北地方会 YIA の応募資格、応募方法は演題応募要領に記載するが、地方会主催の当番校会長の裁定をもって変更は許可されるものとする。
4. YIA 選考委員会は大会長を選考委員長として、各県大学の循環器内科教授 6 名と大会長が選出する 6 名の選考委員の計 12 名で構成される。ただし、宮城県に於いては東北大学と東北医科薬科大学の教授が交代で務めることとする。選考委員に代理を置く場合は、教授選考員の場合は教室の准教授または講師に委託し、その他の 6 名の選考委員については大会長が再度選出する。

日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award(東北地方会 YIA) 演題応募要領

趣旨

日本循環器学会東北支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award」(東北地方会 YIA)を設け、毎回の東北地方会において、優秀演題の表彰を行う。

応募資格

日本循環器学会員であり、各地方会開催日において満 35 歳以下の方。
東北地方会において過去に YIA を受賞した者は、最優秀賞・優秀賞を問わず、同じ部門への再応募はできない。他部門への申請は可とする。

対象演題

日本循環器学会東北地方会で行われた循環器学に関する臨床・基礎研究、且つ、症例報告を受け付ける。発表時点で印刷公表されていない演題内容を対象とする。ただし、応募者は筆頭演者でありその内容に中心的役割を果たしたものであることを必要とする。他の学会賞への応募と重複しないこととし、各部門毎に1施設2題(ただし1科1演題)までの応募とする。本 YIA は症例発表部門と研究発表部門それぞれで選考と表彰を行う。

選考方法

地方会演題募集時に YIA 応募希望を募り、地方会開催時には希望演題のみを対象とする YIA セッションを設ける。選考委員は本セッションに参加し、引き続き開催される YIA 審査委員会において厳重な審査を行う。症例発表部門と研究発表部門それぞれで最優秀賞1名および優秀賞若干名選定する。なお、希望演題数が各部門 5 題を超えた場合は、予め選考委員による第一次審査を行う。

会長奨励賞

YIA希望演題の内、一般病院の演題から1題を会長奨励賞としてあらかじめ選出しておき、当日表彰が行われる旨を演者に通知する。ただし、この演題がYIA最優秀賞または優秀賞に選出された場合はYIAを優先し、その回の会長奨励賞はなしとする。

応募方法

一般演題応募と同様に日本循環器学会ホームページより登録。Young Investigator's Award 応募希望者は応募資格を確認のうえ、「YIA に応募する」にチェックを入れ、症例発表部門と研究発表部門のどちらに応募するかを予め明記する。

賞

部門毎に最優秀賞1名(賞金 10 万円)および優秀賞若干名(賞金 5 万円)と表彰状。同点の場合は要検討とする。
会長奨励賞は1名(賞金 5 万円と表彰状)。

締切

一般演題締切日と同日とする。一次審査後採択されなかった場合は、自動的に一般演題に採択される。

日本循環器学会東北地方会学生・初期研修医 AWARD 会則

2019年12月1日施行

2021年6月5日施行

1. 日本循環器学会東北支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な研修医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会学生・初期研修医 AWARD」を設ける。
2. 本会則は2019年6月1日に開催される第168回東北地方会から有効とし、本会則の変更は総会で審議・決定される。
3. 東北地方会学生・初期研修医 AWARD の応募資格、応募方法は演題応募要領に記載するが、地方会主催の当番校会長の裁定をもって変更は許可されるものとする。
4. 研修医 AWARD 選考委員会は会長校の准教授を選考委員長として、各県大学の循環器内科准教授／講師／助教より6名と、大会長が選出する6名の選考委員（循環器専門医研修施設より選出）の計12名で構成される。ただし、宮城県に於いては東北大学と東北医科薬科大学の准教授が交代で務めることとする。

日本循環器学会東北地方会 学生・初期研修医 AWARD 演題応募要領

趣旨

日本循環器学会東北支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 学生・初期研修医 AWARD」を設け、毎回の東北地方会において、優秀演題の表彰を行う。

応募資格

日本循環器学会員であり、各地方会開催日において学生・初期研修医の方。
東北地方会において過去に学生・初期研修医 AWARD を受賞した者は、再応募はできない。

対象演題

筆頭演者である応募者が担当医として治療を行った症例報告もしくは重要な役割を果たした研究で、演題募集締切日までに他の学会で未発表かつ印刷公表されていない演題内容を対象とする。他の学会賞への応募と重複しないこととし、1施設2題(ただし1科1演題)までの応募とする。

選考方法

地方会演題募集時に学生・初期研修医 AWARD 応募希望を募り、地方会開催時には希望演題のみを対象とするセッションを設ける。選考委員は本セッションに参加し、引き続き開催される審査委員会において厳重な審査を行う。なお、希望演題数が5題を超えた場合は、予め選考委員による第一次審査を行う。

応募方法

一般演題応募と同様に日本循環器学会ホームページより登録。学生・初期研修医 AWARD 応募希望者は応募資格を確認のうえ、「学生・初期研修医 AWARD に応募する」にチェックを入れ応募する。

賞

最優秀賞1名(賞金10万円)および優秀賞若干名(賞金5万円)と表彰状。同点の場合は要検討とする。

締切

一般演題締切日と同日とする。
一次審査後採択されなかった場合は、自動的に一般演題に採択される。

第 173 回日本循環器学会東北地方会 YIA 審査委員

(敬称略)

青 森

弘前大学 循環器腎臓内科学講座
つがる総合病院 循環器・呼吸器・腎臓内科

教 授 富田 泰史
科 長 阿部 直樹

岩 手

岩手医科大学 循環器内科分野
岩手県立二戸病院 循環器内科

教 授 森野 禎浩
科 長 西山 理

秋 田

秋田大学 循環器内科学
市立秋田総合病院 循環器内科

教 授 渡邊 博之
副院長 阿部 芳久

山 形

山形大学 内科学第一講座
山形県立中央病院 循環器内科

教 授 渡辺 昌文
部 長 松井 幹之

宮 城

東北大学 循環器内科学
仙台オープン病院 循環器内科

教 授 安田 聡
主任部長 浪打 成人

福 島

福島県立医科大学 循環器内科学講座
大原総合病院

教 授 竹石 恭知
副院長 齋藤 修一

第 173 回日本循環器学会東北地方会
学生・初期研修医 AWARD 審査委員

(敬称略)

青 森

弘前大学 循環器腎臓内科学講座
青森県立中央病院 循環器内科

准教授 佐々木 真吾
部 長 櫛引 基

岩 手

岩手医科大学 医学教育学講座地域医療学分野
岩手県立中部病院 地域医療福祉連携室・第一循環器内科

教 授 伊藤 智範
室長・科長 齊藤 秀典

秋 田

秋田大学 医学教育学講座
秋田厚生医療センター 循環器内科

教 授 長谷川 仁志
診療部長 松岡 悟

山 形

山形大学 内科学第一講座
山形市立病院済生館 循環器内科

准教授 渡邊 哲
科 長 宮脇 洋

宮 城

東北大学 循環器内科学
国立病院機構仙台医療センター

准教授 高橋 潤
副院長 篠崎 毅

福 島

福島県立医科大学 循環器内科学講座
白河厚生総合病院

准教授 中里 和彦
副院長 齋藤 富善

日本循環器学会東北支部役員（令和3年8月現在）

支 部 長	竹石 恭知			
副 支 部 長	森野 禎浩			
理 事	竹石 恭知			
	森野 禎浩			
支 部 役 員	竹石 恭知 (福島県立医科大学)	森野 禎浩 (岩手医科大学)		
	富田 泰史 (弘前大学)	金 一 (岩手医科大学)		
	渡邊 博之 (秋田大学)	飯野 貴子 (秋田大学)		
	齋木 佳克 (東北大学)	堀内 久徳 (東北大学)		
	安田 聡 (東北大学)	小丸 達也 (東北医科大学)		
	富岡 智子 (みやぎ県南中核病院)	渡辺 昌文 (山形大学)		
名誉特別会員	伊藤 宏	白土 邦男	平 則夫	中村 元行
	丸山 幸夫	久保田 功	下川 宏明	
名誉支部員	青木 孝直	芦川 紘一	池田 精宏	石出 信正
	石橋 敏幸	伊藤 貞嘉	猪岡 英二	今井 潤
	大和田 憲司	岡林 均	小熊 正樹	長内 智宏
	小野 幸彦	加賀谷 豊	門脇 謙	金澤 正晴
	金塚 完	木島 幹博	小岩 喜郎	後藤 敏和
	小林 政雄	齋藤 公男	齊藤 崇	佐々木 弥
	貞弘 光章	佐藤 昇一	佐藤 匡也	瀨川 郁夫
	高松 滋	立木 楷	田中 元直	田巻 健治
	布川 徹	野崎 英二	福田 幾夫	藤野 安弘
	前原 和平	三国谷 淳	室井 秀一	元村 成
	盛 英機	保嶋 実	柳澤 輝行	山本 文雄
	渡辺 毅			
支部評議員	各県ごと五十音順、○印は社員（旧：全国評議員）			
青 森	阿部 直樹	木村 正臣	櫛引 基	○佐々木真吾
	大徳 和之	○富田 泰史	萩井 讓士	花田 裕之
	松井 宏光	皆川 正仁	森 康宏	横田 貴志
	横山 公章			
岩 手	安孫子明彦	石田 大	○伊藤 智範	遠藤 秀晃
	大和田真玄	○金 一	熊谷亜希子	小松 隆
	高橋 智弘	田代 敦	中村 明浩	西山 理
	房崎 哲也	三浦 正暢	○森野 禎浩	八木 卓哉
秋 田	○阿部 芳久	飯野 健二	○飯野 貴子	小坂 俊光
	佐藤 誠	鈴木 智人	鈴木 泰	武田 智
	田村 芳一	寺田 健	照井 元	豊野 学朋
	長谷川仁志	堀口 聡	松岡 悟	○渡邊 博之
山 形	有本 貴範	池田こずえ	池野栄一郎	内田 徹郎
	金谷 透	佐藤 匡	穴戸 哲郎	菅原 重生
	須藤 直行	高橋 大	新関 武史	西山 悟史
	野崎 直樹	廣野 撰	福井 昭男	松井 幹之
	宮本 卓也	宮脇 洋	○渡邊 哲	○渡辺 昌文
宮 城	伊藤 健太	大原 貴裕	菊地 翼	熊谷 浩司
	上月 正博	○小丸 達也	○齋木 佳克	西條 芳文
	佐藤 公雄	篠崎 毅	白戸 崇	高橋 潤
	高濱 博幸	建部 俊介	○富岡 智子	中野 誠
	野田 崇	後岡広太郎	羽尾 清貴	○堀内 久徳
	矢尾板信裕	○安田 聡	山本 沙織	山家 智之
福 島	石田 隆史	大和田尊之	金城 貴士	國井 浩行
	小松 宣夫	齋藤 修一	斎藤 富善	杉 正文
	杉本 浩一	○竹石 恭知	武田 寛人	○中里 和彦
	八巻 尚洋	横山 斉	義久 精臣	
会 計 監 事	那須 雅孝			
	前原 和平			
幹 事	支部事務局担当幹事：高橋 潤（東北大学）			
	JCS-ITC 講習会担当幹事：花田 裕之（弘前大学）			

日本循環器学会東北支部

各種委員会 委員名簿 (令和3年11月現在)

* 委員長

ダイバーシティ推進委員 (旧 男女共同参画委員)

*西崎 史恵 (青森)	相馬 宇伸 (青森)	小島 香 (岩手)	那須 崇人 (岩手)
岩川 英弘 (秋田)	梅田 有理 (秋田)	有本 貴範 (山形)	渡部 賢 (山形)
齋藤 悠司 (山形)	富岡 智子 (宮城)	西宮 健介 (宮城)	佐藤 遥 (宮城)
肱岡奈保子 (福島)	喜古崇 豊 (福島)		

オブザーバー

熊谷亜希子 (岩手)	八木 卓也 (岩手)	後岡広太郎 (宮城)	杉 正文 (福島)
------------	------------	------------	-----------

心肺蘇生法普及委員

花田 裕之 (青森)	西崎 史恵 (青森)	飯野 健二 (秋田)	深堀 耕平 (秋田)
及川 浩平 (岩手)	照井 克俊 (岩手)	金谷 透 (山形)	宮本 卓也 (山形)
篠崎 毅 (宮城)	須田 彬 (宮城)	*竹石 恭知 (福島)	水上 浩行 (福島)
阿部 諭史 (福島)			

成人先天性心疾患部会委員

大徳 和之 (青森)	大谷 勝記(青森)	金城 貴彦 (青森)	高木 大地 (秋田)
豊野 学朋 (秋田)	飯野 貴子 (秋田)	小泉 淳一 (岩手)	齋木 宏文 (岩手)
上田 寛修 (岩手)	水本 雅弘 (山形)	安孫子雅之 (山形)	西山 悟史 (山形)
*齋木 佳克 (宮城)	安達 理 (宮城)	多田 憲生 (宮城)	建部 俊介 (宮城)
若松 大樹 (福島)	桃井 伸緒 (福島)	及川 雅啓 (福島)	